

平成30年度 成東東中学校 入学式



校長式辞



桜の花も満開になり、木々の緑も色鮮やかに染まる今日の佳き日に、山武市教育委員会から本校への入学を指定された87名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日から成東東中学校の1年生です。

先ほど、担任の呼名に応じて返事をしていた皆さんの姿、現在の皆さんの表情は輝いてみえます。とても立派であり、頼もしく見えます。

3月まで最上級生として、小学校のリーダーとして活躍してきた皆さんは、感動的な卒業式を作ってきました。さすがだと思います。

そんな皆さんに私は、これからの中学校生活で、頑張ってもらいたいことをお伝えします。

成東東中学校は、一人一人がプライドをもって生活をすることを目指しています。そのプライドとは

挨拶 「おはよう こんにちは さよなら」といえる。

返事 「意思表示」ができる。そのためにはしっかりと話を聞く

時間 これを「守る」。共有するものであること。

姿勢 座り方とかではなく「感謝と勇気の気持ちから」

「ありがとうとごめんなさい」が言える謙虚な取り組みの姿勢 のことです。

これらは、社会に出てからも生きていくうえで必要不可欠なことです。この4つを身に着ければ、自分の可能性を広げられると確信しています。

校庭の掲示板には、「今日も元気に おはよう さよなら」「 今日も素直にありがとう ごめんなさい」を掲示してあります。プライドづくりの一步です。感謝と勇気をもって、このことをぜひ身に着けてください。

次に、一生懸命を馬鹿にしないことです。

学習や学校行事などに対し、一生懸命に取り組むことです。一生懸命さは自分を成長させます。そして、自然と自分を支えてくれる人をつくります。

三つめは、自分を振り返る時を持つことで、自己理解を深めてほしいということです。もし、苦しいときがあったら、相談しましょう。相談することは、恥ずかしいことではなく、勇気ある行動です。

「 プライドづくり 一生懸命さ ふりかえり 」

これらのことは、学校という集団生活の場だからこそ、習得できることであり、たくましく成長していく、自分の可能性を広げるための基礎となる学びだと考えます。

皆さん、ブーメランをしていると思いますが、投げたものは自分に返ってくるものです。良いものを、素直さを投げ続けていきましょう。

私たち本校職員は、みなさんと共に考え、学び続けていきます。共に成長をしていきましょう。

保護者の皆様に申し上げます。

お子様の御入学、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。お子さんが誕生してから、いくつもの行事（宮参り、お食い初め、初節句、入園・卒園、入学・卒業等）を重ねるたびに成長を喜び、そして期待を持って本日をお迎えになってきたと思います。これまでの歳月に対し、敬意を表します。

さて、竹は節をつくることでしなやかさに加え、その体を強くしていきます。まさに新入生は、その節を作り出す時期到来と思います。保護者の皆様におかれましても、子供とともに、ぜひ新たな節を作る節目としてください。

これからは、あらゆる面で成長を遂げる時期、様々なことが起きると思います。柔軟さと強さがより必要な時を迎えます。

そこで私たち職員は、皆様の大切なお子様たちに対して、愛情をもって接していきたいと考えます。

皆で、「一人一人にしっかりと向き合いながら」、お子様たちが中学校を巣立つまで、健やかな成長を願い、温かく、そして時には厳しく、子供たちの教育

に当たらせていただきます。

しかしながら教育は、学校のみで成し得るものではありません。
今後の本校教育活動に対しまして、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本日の入学式に際しまして、御多用にもかかわらず、教育委員会から今関百合様、市議会議員の能勢秋吉様をはじめとする学区の議員の皆様、地域を代表する皆様方。そして、保護者の皆様のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。心から御礼申し上げますとともに、本校への一層の御支援と御指導をお願い申し上げ、式辞といたします。



平成30年4月9日

山武市立成東東中学校長

齊 田 謙 一